

山行報告 金時山

山 域： 箱根 金時山

山行日： 7月15日（土）、晴れ

行形態： 日帰りハイキング

メンバー： 井上志津子（報告）、土手由則（どてよしのり） 会員外 小3（2番目の孫）

行 程： JR小田原駅—仙石—登山口—矢倉沢峠—金時山頂上—長尾山—乙女口—仙石

行 動： 柏駅6：44の電車に乗り上野で乗り換え8：49小田原に着いた。

9:05のバスに余裕で乗れて10時近くに仙石に着いた。

新しいバスは驚くほど窓がワイドで小田原の街並みが見やすく興味を誘う。

10時少し前に仙石でバスを降り、態勢を整えて登山口に向かう。保養所が続く坂を上ると行き止まりで、登山道は200m手前ですって、ええっ！ と少しばかり引き返して明神岳と同じ道を途中まで行く。

30分で矢倉沢峠うぐいす茶屋に着き、一休み。

この調子だとあと50分くらいで頂上に着くはずであった。名残りのアジサイ、ツツジそしてホタルブクロが迎えてくれる。

やがて暑さと登りの疲れでYは虫が目につくようになり、歩が進まなくなった。アリもハチもカゲも怖くて嫌いなのである。すれ違う人に励ましてもらいながら金時茶屋に着いたのは12:30であった。

金時姐さんは少し弱った様子ながらご健在で挨拶の後、お目当てのかき氷ときのかき汁をおにぎりと一緒にゆっくりいただいた。

もう一つの主目的富士山はたっぶりの雲の上に頭が少し見えるくらいであった。

あまり広くない頂上は常連さんが多いようだ。写真を撮ってもらい下山開始となる。

Yは「虫が出る道は嫌だ。違う道がいい。」と言うので長尾山経由にした。（乙女口バス停にバスはあまり来ないのだ）。それでもすっかり元気回復してうまく下山できた。下山は合格。

乙女口には当分バスが来ないことを確認して、車道脇を歩き出した。Yも頑張っついてきて30分で仙石バス停に戻れた。ここで下山連絡。

小田原から電車に乗ったが、まだまだ明るく戸塚で途中下車して、4月に柏から戸塚近くに引っ越した三女の家庭訪問をした。シャワーで汗を流し、ビールと夕食で生き返った。

感謝！ 日が長くて、海の日頃に山に行くのはいいな、と改めて思った。

富士山には行けなかったけどYの成長を確かめることができ有意義であった。

